

# 探してみよう！

まちなかの**彫刻**

まちかどの**噴水**



あなたとわくわく



**マグマシティ**  
鹿児島市



# はじめに

本市では、「調和のとれた機能的なまち」を実現するための施策として、

- ①美しく快適な市街地空間の創出
- ②歴史的環境の再生・保全
- ③自然を生かした景観の形成

を掲げ、事業の一部として彫刻や噴水のあるまちづくりに取り組んできました。

周囲の景観に溶け込んでいて、普段なかなか目に留まらない彫刻や噴水について、あらためて知ってもらおうきっかけにさせていただきたいと思い、本パンフレットを作成しました。

なお、本パンフレットでは、鹿児島市都市景観課が所管する施設を紹介しております。

## ●彫刻のあるまちづくり

まちの中の彫刻は、まちに芸術的な風格をもたらし、都市空間を市民のやすらぎの場として演出してくれます。

本市では、花と緑と彫刻のある文化的香りの高いまちづくりを目指し、これまで具象彫刻8体と大型抽象彫刻4体を設置してきました。

これらは、市民に親しまれ、芸術心の涵養<sup>かんよう</sup>と市民文化の向上、そして、調和のとれた豊かな人間性の育成に役立ちつつ、潤いと活気に満ちたまちづくりにつながっています。

具象彫刻とは・・・人や身近な動物などの具体物を彫刻にするもの

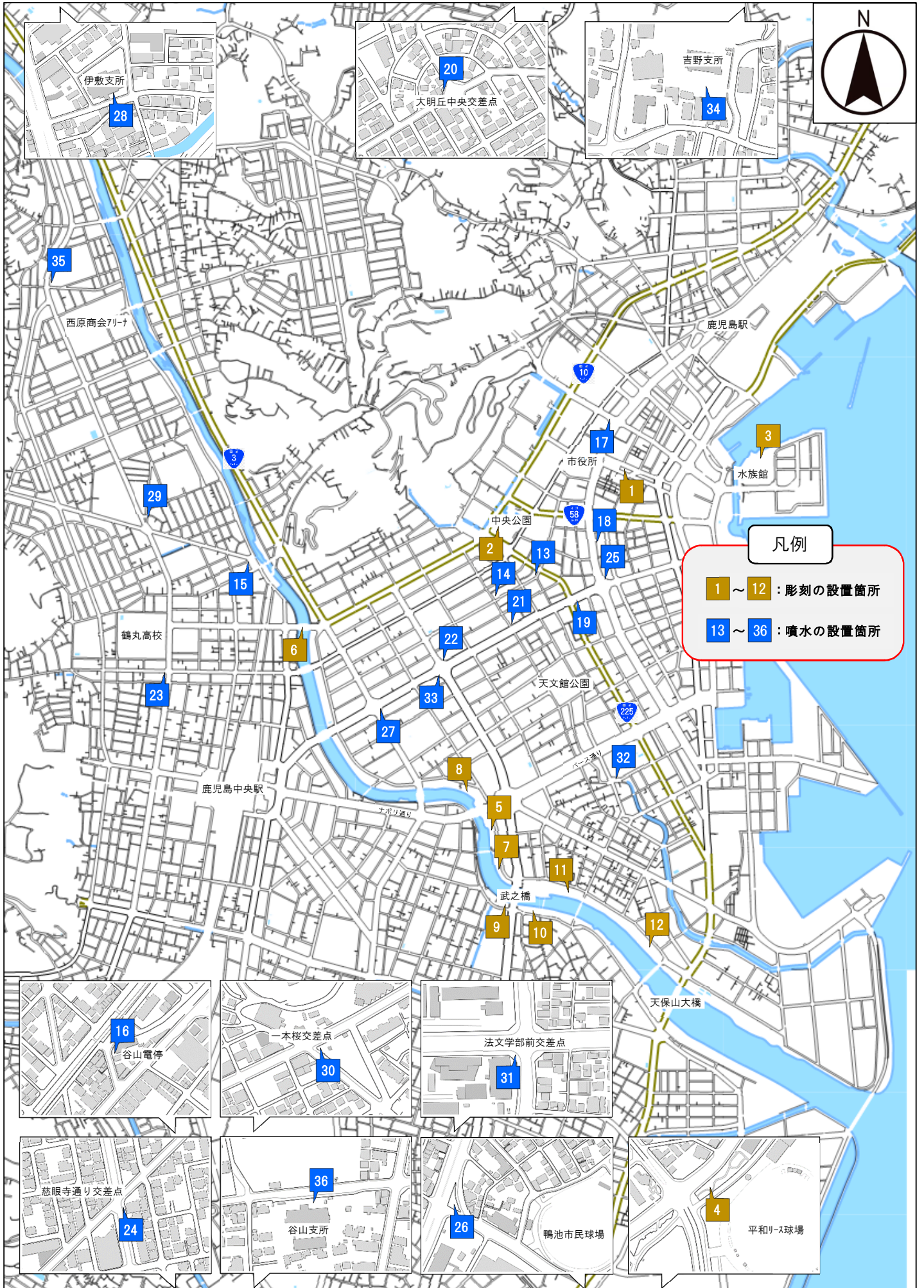
抽象彫刻とは・・・心象（心の中に描き出される姿・形）を彫刻にするもの

## ●噴水のあるまちづくり

本市では、美しく快適な都市空間の形成を目指し、これまで都市のポケットスペースや歩行者の多い交差点などに24基の噴水を設置してきました。

これらは、周辺の景観に溶け込みつつ、まちに潤いや安らぎ、楽しさを創り出しています。

# まちなかの彫刻・まちかどの噴水マップ



# まちなかの彫刻一覧

1 悠雄



速水 史朗 作 平成 4 年

2 ま四角三つ



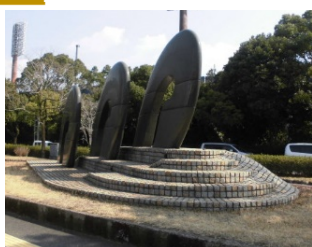
堀内 正和 作 平成 4~5 年

3 風



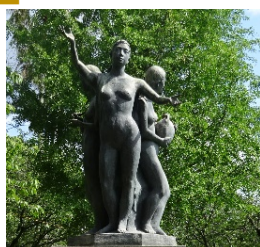
澄川 喜一 作 平成 7~8 年

4 未来へ



速水 史朗 作 平成 9~10 年

5 四季の詩



楠本 香代子 作 昭和 61 年

6 思い出・こだま



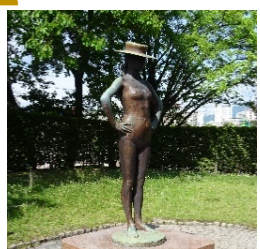
山本 正道 作 昭和 61 年

7 陽光を浴びて



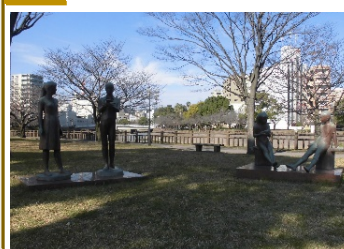
板橋 一步 作 昭和 62 年

8 帽子の像



佐藤 忠良 作 昭和 63 年

9 はばたき I・II



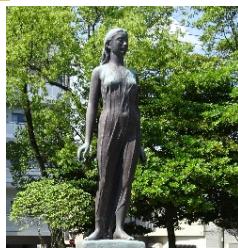
増山 俊春 作 平成元年

10 カルテット



関谷 光生 作 平成 3 年

11 渚



舟越 保武 作 平成 3 年

12 春のよろこび



桑原 巨守 作 平成 4 年

## 作者のことば

	作品名	作者のことば
1	悠雄	この彫刻は、鹿児島島の悠々と雄々しい自然、風土を礎に、人々が語り合い、支え合って、現代から未来へと発展する鹿児島島を象形化したものです。円形台座に入り、作品に直に触れ、自由に対話してください。
2	ま四角三つ	この作品は、同じ大きさの三つのま四角枠の力のバランスをあらわしています。上の枠と下の枠は真ん中の枠で左右に離され、片方は地球の引力で引き下げられ、もう片方は天上からの引力で引き上げられているという関係になっています。その両方から抱え込まれている真ん中の枠は、上下の相反する引力のため、からだを斜めに傾けながら考え込んでしまっている。そんな様子です。
3	風	この作品は、黒御影石による自然の力強い割肌と研磨したシャープなフォルムを対比させ、錦江湾の風を孕みながら陽光に映える帆をイメージした力感溢れるモニュメントを意図したものです。
4	未来へ	新しい市街地となったこの地、鴨池・与次郎ヶ浜の歴史から、未来に向かってこの地にかけた先人のエネルギーを三体の同形の彫刻で表現しました。また、この地のランドマークとして各方面から通行する人々にも《道しるべ》としての役割も果たすこととなります。 基台となる石積の部分は、この地を訪れる人々が親しく、ゆったりとした時を過ごすことが出来るように考え、本体彫刻の間を通り抜けられるようにしてあります。 彫刻と人の楽しい交わりが豊かな空間を造り出し、未来へ発展する鹿児島市を象徴したものです。
5	四季の詩	四季は人生の歩みに似ている。優しい希望の春。情熱を謳歌する夏。豊穡を祈る秋。風雪に耐える冬を表現しています。
6	思い出・こだま	思い出：橋と水辺の織りなす空間は、人々に様々な思いを抱かせる追憶の空間。 こだま：川は都市の母。潤いの水をたたえ、いつでも豊かな表情で語りかける。
7	陽光(ひ)を浴びて	あふれる陽光(ひ)を浴びて楽しく歩く、走る、汗が光る。ヘルシーウォーク。健康づくり。
8	帽子の像	河風を受け、南の陽ざしに立ちつづけるであろうこの娘の像が、いつまでも皆様と挨拶を交わし続けられるよう願っています。
9	はばたきⅠ・Ⅱ	川には思い出がたくさんある。素晴らしい環境の中で純真な少年少女たちが美しい思い出をつくり、健やかに成長し、大きくはばたいてほしいと願っています。
10	カルテット	自然に四季の音楽があるように人間にも様々なドラマがある。その中で豊かな自然に囲まれて未来に向かう音を、勇気を得る音楽を共に響き合い奏でて下さい。
11	渚	女性の優しさと繊細さを表現したもので、優しい微笑みとしっとりした雰囲気、潤いと安らぎを醸しだしてくれることと思います。
12	春のよろこび	春のそよ風を、太陽の恵みを、文化を謳歌している3体の像が統一されて開かれた大宇宙に「春のよろこび」を伝えているものです。

# まちかどの噴水一覧

13 望遠鏡



平成2年

14 カモメ



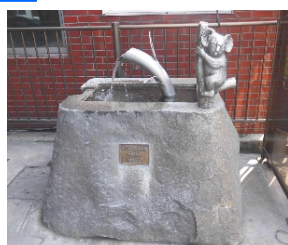
平成2年

15 水車



平成2年

16 コアラ



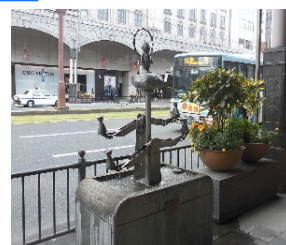
平成2年

17 曲線三つ



平成4年

18 雷坊や



平成4年

19 三つの球



平成4年

20 子供と馬



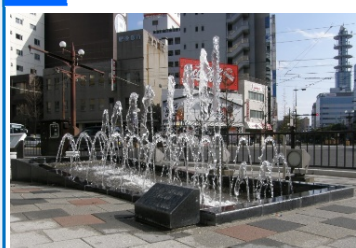
平成4年

21 大きな水車



平成5~6年

22 斜めの四角



平成5~6年

23 黒の曲線



平成5~6年

24 水辺の河童



平成5~6年

25 大きな花



平成 6 年

26 二段の噴水



平成 7 年

27 楕円の噴水



平成 7 年

28 若鮎噴水



平成 7 年

29 黒と樹水



平成 8 年

30 桜の噴水



平成 8 年

31 白い円柱



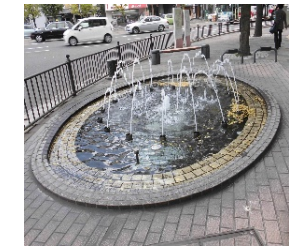
平成 8 年

32 清滝噴水



平成 9 年

33 王冠噴水



平成 9 年

34 錦江噴水



平成 10 年

35 CONFLUENCE (合流)



平成 11 年

36 ハーモニー噴水



平成 12 年

## デザイン意図

	噴水名	デザイン意図
13	望遠鏡	天文館を象徴する望遠鏡をモチーフに設置しました。
14	カモメ	近くに御着屋交番や俊寛堀があるように、昔、港の近くであったことを連想させます。
15	水車	径 48cm の水車が昔、見られたであろう甲突川の風景を想像させます。
16	コアラ	平川動物公園でコアラが飼育されていることから、地区の象徴として設置しました。
17	曲線三つ	素朴で力強い御影石と流麗なステンレス曲線の組み合わせにより、風土や文化を暗示しています。歴史に支えられ上昇する文化のかたちと対話の表現の重ね合わせを表現しました。
18	雷坊や	日本古来の「ししおどし」の仕掛けが洒落たシーソーとなったもので、人形のかわいい形と楽しい運動により地域が活気づくよう設置しました。
19	三つの球	ガラスの鋳物を使用することで水の輝きや透明感を生かし、3つのステンレス球(径 32cm)をなめらかに滑り落ちる水に、未来への予感がきらめくような演出を行いました。
20	子供と馬	昔、放牧地であったことから、子供に親しまれやすい馬をモチーフとして、水のカラクリ(径 18cm の水車)を加えることで新しく整備された街の個性を表現しました。
21	大きな水車	天文台ゆかりの地にふさわしく、天空をまわる星空をイメージしたブロンズ製の水車(径 1m)です。磨かれた黒御影石や金属が水の流れを一層魅力的なものに演出しています。
22	斜めの四角	交差点の空間スケールに合わせた噴水デザインで、たくさんのノズルから斜めに噴き上げる水と四角の床面を流れる水が変化のある表情をつくり、爽やかな空間に変えます。
23	黒の曲線	交差点での視線を妨げないよう低い黒御影石の間から水が噴き上げるデザインであり、足元の 2 本の曲線は文教地区における交流、友情を表現したものです。
24	水辺の河童	地域で語られている河童伝説を取り上げて、アルミの鋳物で造られた河童が水辺で遊ぶ情景を表現したものです。
25	大きな花	花に囲まれた交差点に相応しく、桜御影石と白御影石との組み合わせにより花びらをイメージしたデザインで、キャンドルノズルから最大 80cm 吹き上げる水で、まちに変化と潤いを与えます。
26	二段の噴水	噴き上がる水は、躍動感にあふれ、発展する地域のシンボルであり、上段から下段に緩やかに落ちる水は、清新な雰囲気を出しています。白御影石を使用し、水中照明 7 灯で幻想感を演出しています。
27	楕円の噴水	豊かな樹氷型の噴水が大きな交差点の空間の中で明治維新のエネルギーをダイナミックに表現しています。桜御影石で造られた池の縁はベンチ兼用となるように幅広くなっています。



	噴水名	デザイン意図
28	若鮎噴水	川の上流に近く、子供たちが若鮎のように元気よく川で遊び、逆境に負けない強くたくましい子に育つことを中央と周辺の5つの噴水の演出で表現しました。
29	黒と樹氷	区画整理による新たなまちづくりのシンボルともなるもので、黒御影石の池の中央で樹氷型ノズルから高く噴き上がる水の形が躍動感にあふれた発展する地域を表現しています。
30	桜の噴水	桜で人気の公園入口でもあり、樹氷型1基とアーチ型18基のノズルの組み合わせにより華やかさとともに平和への願いを表現したものです。
31	白い円柱	中央の樹氷型噴水1基で若者のエネルギーを、周辺のアーチ型14基と円柱型12基の噴水で水の優しさや優雅さを演出しています。
32	清滝噴水	撤去された「ガンガラ橋」の親柱を用いることで地域の歴史の継続に配慮しました。また、一方を橋、一方を川と見立てて舗装パターンに変化をつけて表現しました。噴水は、樹氷型と花束型(12本)を組み合わせることで、親柱が与える堅く重い印象を中和させています。
33	王冠噴水	文化・観光拠点と結ぶ軸上、かつ商業拠点と交通拠点を結ぶ軸上で人の往来が多い場所であるため注目される噴水です。市電センターポール事業や交差点斜め向かいの「斜めの四角」と調和を図り、煩雑な空間を雑多な印象とならないよう配慮しました。
34	錦江噴水	噴水の中のモニュメント(黒御影石)が、吉野台地から眺める錦江湾に浮かぶ桜島という風景を連想させます。山頂から噴き上がる白く泡立つ水が噴煙を、そしてまわりで飛び上がる水の球が錦江湾の魚や吉野台地の馬や自然の中で遊ぶ子供たちをイメージさせます。吉野地区の新たな核となった支所の玄関前で、潤いのある空間を演出しています。
35	CONFLUENCE(合流)	英国の彫刻家ウィリアム・パイ氏が、この地域の歴史と設置場所を確認した上で製作した、日本で初めての公共空間設置作品です。鐘堂のような造形(黒・静)と中央への噴水の動き(白・動)の対比が美しい作品です。
36	ハーモニー噴水	噴水デザインは、谷山地域が一体として発展していく「新たな和(輪)の創造」をテーマに、これまで設置してきた噴水が一つの「輪」になって美しい都市景観を創造していくように、円形の池に力強い大小7本の噴水を配しています。



発行：令和2年12月1日  
鹿児島市 都市景観課  
〒892-8677  
鹿児島市山下町11番1号  
TEL 099-216-1425